

- 無意識の思い込みを自省し、決めつけずに対話し、待つことができる大人が増え、一人ひとりの意思と個性がもっと尊重される社会になっています。答えのない時代を生きるのに必要な自発性や創造力を育むため、ツールとしてICTを最大限に活かしつつ、学校・家庭・地域で対話を重視した探求型の教育が行われています。教員も親も地域の大人たちも子どもの個性を伸ばすことに注力しています。
- 兵庫が先導する幅広い体験学習を通じて子どもたちが社会に関心を深めています。自然、文化、産業の実物に触れ、地域の大人と対話する機会が豊富にあり、社会全体が学びの場になっています。都市と多自然地域を行き来する学びの形も広がっています。
- 地域に多様な学びの選択肢があり、子どもたちは自

分に合った場所で安心して学べます。様々な考えを尊重し、意見を交わす学びが大切にされています。高校の特色化がさらに進み、義務教育終了後の選択肢も広がっています。

- 誰もが学びたいときに学びたい場所で学び、新たな知識や技能を身につけたり、専門性を磨いたりする社会になっています。大学が地域に開かれた学びの拠点となり、年齢を問わず学び直し、新しいことに挑戦する人が増えています。学び直しの広がりにより一人ひとりの生き抜く力が高まっています。
- 身近な地域にいろいろな学びの場があります。誰もが先生にも生徒にもなれる学びの場が広がり、暮らしに役立つ知識や趣味に関わることで多様なテーマの学びに多くの人が参加しています。

〈アクション例〉

- 子どもたちが試行錯誤できる探求型の学びを広げよう。
- 一人ひとりの個性に合った学びができる環境を作ろう。
- そこでしか体験できない教育を生み出そう。
- 学校だけでない学びの選択肢を広げよう。
- 都市と多自然地域の学校の交流の輪を広げよう。
- いくつになっても学び続けよう。リカレント教育を普及させよう。

- 地域の中に多様な学びの場をつくり、参加しよう。

先の見通せない「VUCA（ブーカ）」時代の到来

VUCA（Volatility：変動性、Uncertainty：不確実性、Complexity：複雑性、Ambiguity：曖昧性）時代には、問題解決に加えて問題を「発見」する力、本質を見抜く力が求められます。変化する状況の中で目的を見失わないよう方向性を示すビジョンの重要性が説かれています。

- いろいろな実験ができる地域の多様性、超高速の通信基盤、充実した伴走型支援などの環境の魅力で、起業をめざす人材が集まり、新しい事業に挑んでいます。人が人を呼ぶ好循環が生まれ、地域に応援されながら斬新なアイデアで社会課題の解決に取り組む起業家が次々と生まれています。
- 特技を活かしたスモールビジネスや、地域の困り事を解決するボランティア活動に多くの人が挑戦しています。カフェや地場産品を用いたグッズ製作、子育て支援など小さな活動の集積が地域の魅力や暮らしやすさを高めています。
- 兵庫は阪神・淡路大震災を契機に全国に広がったボランティア活動の一大拠点であり続けています。福祉や子育て、文化や環境保全など、幅広く民間非営利団体の活動が展開され、新たな取組も次々と生ま

れ、多くの人が楽しく役割を担っています。それらの活動を応援する寄付文化も広がっています。

- 失敗を貴重な経験として評価する社会になり、何度でも挑戦できる環境が整っています。失敗したときのセーフティネットがあり、再挑戦するとき資金面の支援などで不利になることもありません。
- 社会課題の解決や新しい価値の創出に取り組むマインドを引き出す教育が行われています。地域に多くのチャレンジの機会があり、多くの若者が周りに応援されて一步を踏み出しています。自分たちにも社会を変える力があると感じる若者が増えています。
- 誰もがより良い生き方を追求しています。スポーツやアウトドア、歴史文化、食など人それぞれの課題を持って新しい暮らし方や学びを楽しんでいます。

〈アクション例〉

- 新しい事業を始める人を応援しよう。社会課題解決を支援するファンドづくりなど起業を促す環境を作ろう。
- 小さな起業に挑戦してみよう。
- 社会の課題を見出し、仲間と一緒に取り組もう。
- 寄付文化を広げ、寄付が盛んなまちにしよう。
- 失敗しても再挑戦がしやすい環境を整えよう。

- 起業体験ができる教育プログラムを作り、参加しよう。
- 日々の暮らしの中で、自分なりの課題に挑戦しよう。

地域に根付いた「スモールビジネス」の広がり

地域の課題をアイデアの源とし、高齢者向けサービス、空き家・空き店舗の活用、農や自然などの体験型ツーリズムなど、様々なスモールビジネスが広がっています。

- 阪神・淡路大震災からの復興の大きな原動力になった経験から芸術文化を大事にする県であり続けています。スポーツや食も含む幅広い意味での文化を暮らしの中心に据える県民が増えています。文化が地域の活力と豊かさを測る尺度になり、地域がこぞって文化的な活動を広げる社会になっています。
- 多くの人が生活の中で創作、発表、鑑賞を楽しんでいます。多彩な表現活動が暮らしに彩りと刺激を与え、人々の感性や創造性を高めています。伝統的な芸術文化も次の世代に受け継がれています。
- 地域に様々な芸術文化の拠点があり、個性的な創造集団が活躍しています。誰もが芸術文化を享受できる環境が整い、兵庫が多様な芸術文化を楽しめる地域として世界が憧れる場所になっています。

- 芸術文化の力で地域を元気にする人材を育て、送り出す県になっています。演劇的手法を使ってコミュニケーション能力を高める講座など、演劇、音楽、美術などの技術を活かして子どもの主体性、表現力を養うプログラムが各地で展開されています。兵庫で芸術文化を学んだ人材が全国で活躍しています。
- 芸術、映画、ゲーム、ファッションなどの体験価値を提供するクリエイティブ産業が育っています。先端的なアートやデザインに挑む人々が集まり、新たな価値を創出しています。
- アートやデザインの思考を持った作り手が育ち、兵庫のものづくり産業、地場産業が進化しています。培ってきた伝統と、新しい発想からの革新の融合により、世界を魅了する産物を生み出しています。

〈アクション例〉

- 夢中になれる文化的な活動を見つけて取り組もう。
- 図書館を身近な文化活動の拠点として育てよう。
- 創作、発表、鑑賞ができる場所を増やそう。
- 伝統文化を継承する担い手を育てよう。
- 芸術を活かして表現力を養うプログラムを展開しよう。
- 県内でクリエイティブ産業を育てよう。

芸術文化の4つの意義

- ①人に楽しさや感動、安らぎ、生きる喜びをもたらす。豊かな人間性、創造力、感性を育む。
- ②地域の個性の核となり、地域の一体感を醸成。
- ③人類共通の感動体験が異質なものに対する寛容な心を醸成し、世界の人々との相互理解と共生を促進。
- ④新しい産業の振興や既存産業の高付加価値化。